

西大和つうしん

2024年11・12号

No.482



奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第482号（2024年11・12号）

【目 次】

11 月度山行計画.....	2
12 月度山行計画.....	3
11・12 月度カレンダー.....	4
山行・行事等参加メモ.....	5
山行報告	
・例会山行1 《8/25》 北摂の山 妙見山（亀高）.....	6
・自主山行 《9/3～5》 飛騨山脈 御嶽山（佐々木・玉野）.....	7
・自主山行 《9/3～7》 富士山（岩田）.....	8
・例会山行2 《9/8》 播磨の山 雪彦山（上田）.....	9
・例会山行1 《9/21》 北摂の山 箕面山（岩田）.....	11
・自主山行 《9/26～28》 上信越の山 浅間山・四阿山（佐伯）.....	12
・例会山行2 《9/29》 大峰山脈 稲村ヶ岳（玉野）.....	13
・例会山行1 《10/6》 鈴鹿山脈 三池岳（前田昌）.....	14
・自主山行 《10/9～12》 妙高戸隠連山 火打山・妙高山（佐々木・玉野）.....	16
・例会山行2 《10/19～20》 大峰山脈 行仙岳～笠捨山（岩田・藤井）.....	17
2024 年度第3回運営委員会議事録.....	19
室内例会だより（9/1）.....	20

11月度山行計画

～酷暑だった今年の夏、秋を探しに出かけましょう～
夏の風物詩・五山送り火の大文字山から、京都盆地を一望！

公開山行 例会山行1 京都東山 《大文字山 465.3m》

【日 程】11月3日（日）（L 前田昌）

※ 参加者はリーダーまで申込み（10月20日締切り）

【集 合】①JR 王寺駅 7:30 奈良行1番ホーム または②JR 山科駅 9:15 改札出口

【コース】山科駅～毘沙門堂門跡～後山階陵～大文字山稜線～大文字山～火床～銀閣寺（解散）

※ 歩行時間：約4時間（休憩含まず）

※ 歩行距離：約7.6km

※ 本山行は、どなたでも参加いただける公開山行の対象です。

お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的にお誘いください。

～大峰の紅葉を見に行こう！～

紅葉した樹木が尾根をうねり、龍が昇っていくような珍しい光景

例会山行2 大峰山脈 《行者還岳 1,546.6m》

【日 程】11月7日（木）（L 中尾）

※ 参加者はリーダーまで申込み（10月24日締切り）

【集 合】上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】行者還岳駐車場(9:30)～タイタン広場～天川辻～行者の水場～行者還岳分岐～行者還岳～行者還岳分岐～行者の水場～天川辻～タイタン広場～行者還岳駐車場(15:40)

※ 歩行時間：約4時間40分（休憩含まず）

～ダイヤモンドトレイルの紀見峠から先～

秋の岩湧山、ススキの原を経て、滝畑ダムまで歩こう

例会山行2 和泉山脈 《岩湧山 898m》

【日 程】11月24日（日）（L 亀高）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11月10日締切り）

【集 合】JR 王寺駅改札口 6:50 または 南海紀見峠駅 8:20

【交 通】往路：①王寺 7:04⇒7:16 柏原 7:27⇒7:31 道明寺 7:32⇒7:56 河内長野 8:05⇒8:18 紀見峠 ②王寺 7:01⇒7:24 新今宮 7:37⇒8:18 紀見峠

帰路：滝畑ダム発：14:19 16:19 17:13

河内長野着：15:07 17:07 17:58

【コース】南海紀見峠駅～紀見峠～ボ谷ノ池～三合目～根古峰～五ツ辻～八合目～岩湧山東峰～岩湧山～横田分岐～カキザコ～滝畑ダムバス停

※ 歩行時間：約5時間（休憩含まず）

※ 歩行距離：約13.2km

12月度山行計画

～伊勢湾ほか全方向の展望を楽しめる山へ！～

例会山行2 布引山地 《経ヶ峰 819m》

【日程】12月1日（日）（L 杉森）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11月17日締切り）

【集合】JR 王寺駅南口 6:40 または 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】笹子谷コース入口駐車場～(50)～林道終点～(50)～北笠岳分岐～(30)～経ヶ峰～(20)～稲子山分岐～(60)～稲子山～(50)～笹子谷コース入口駐車場

※ 歩行時間：約4時間20分（休憩含まず）

晩秋の加西アルプス～低山ながらも岩場と展望を楽しもう！～

体験山行対象

例会山行1 播磨の山 《加西アルプス（善防山～笠松山）

(250m) (244m)

【日程】12月8日（日）（L 岩田）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11月24日締切り）

【集合】JR 王寺駅南口 6:40 または 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】大手門登山口～善防山～笠松山～古法華池登山口～加西アルプス善防山ハイキングコース入口～大手門登山口

※ 歩行時間：約4時間（休憩含まず）

※ 歩行距離：約5km

※ 本山行は、体験山行の対象です。

※ お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～大阪側と和歌山側の景色を一望しながら低山の縦走を楽しみましょう！！～

例会山行2 和泉山脈 《紀泉アルプス 雲山峰 485m》

【日程】12月15日（日）（L 橋本）

※ 参加者はリーダーまで申込み（12月1日締切り）

【集合】JR 阪和線山中溪駅 9:05 （王寺駅 7:25）

【交通】王寺 7:31⇒7:49 天王寺 7:59⇒857 山中溪

【コース】山中溪駅～銀の峰第1パノラマ～四ノ谷山～雲山峰～地藏山～青少年の森～六角堂～大関橋～六十谷駅

※ 歩行時間：約5時間（休憩含まず）

※ 歩行距離：約12km

西大和山の会 カレンダー

11月			12月		
1	金		1	日	例会山行2《経ヶ峰》(杉森英)
2	土		2	月	
3	日	公開山行・例会山行1《大文字山》(前田昌)	3	火	県連理事会
4	月		4	水	
5	火	県連理事会	5	木	
6	水		6	金	
7	木	例会山行2《行者還岳》(中尾)	7	土	
8	金		8	日	体験山行・例会山行1《善防山～笠松山》(岩田)
9	土		9	月	
10	日		10	火	
11	月		11	水	
12	火		12	木	
13	水		13	金	
14	木		14	土	西大和つうしん原稿締切
15	金		15	日	例会山行2《紀泉アルプス・雲山峰》(橋本)
16	土		16	月	
17	日		17	火	
18	月		18	水	
19	火		19	木	
20	水		20	金	
21	木		21	土	室内例会・忘年会
22	金		22	日	
23	土		23	月	
24	日	例会山行2《紀見峠～岩湧山》(亀高)	24	火	
25	月		25	水	
26	火		26	木	
27	水		27	金	
28	木		28	土	
29	金		29	日	
30	土		30	月	
			31	火	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	12/21 室内例会 忘年会	11/3 例会1	11/7 例会2	11/24 例会2	12/1 例会2	12/8 例会1	12/15 例会2
			大文字山	行者還岳	紀見峠～ 岩湧山	経ヶ峰	善防山～ 笠松山	紀泉アルプス・ 雲山峰
1	都築周作							
2	藤井益子							
3	島崎 隆							
4	村田澄子							
5	勝尾栄美子							
6	杉村好子							
7	橋本紀子							LO
8	亀高 茂				LO			
9	野路政子							
10	杉森英二					LO		
11	上田雅子							
12	永井章夫							
13	岩田礼子						LO	
14	佐々木喜代美							
15	玉野和恵							
16	前田昌信		LO					
17	岩崎美都里							
18	岡嶋吉男							
19	岡嶋八重子							
20	中尾昌史			LO				
21	杉森純子							
22	佐伯博子							
23	中野雅美							
24	鈴木貴子							
25	前田良作							
26	田中美恵子							
	一般参加者							
合 計								
緊急連絡先								
HP 編集者			亀高	橋本	亀高	永井	橋本	橋本

L:リーダー、○:参加、◎:車

※山行参加の回答は、リーダーに山行 2 週間前までにお知らせください。

※HP の会員の広場に掲載している「山行リーダーのための例会山行までの流れ」を参照して下さい。

山行報告

例会山行1 北摂の山 妙見山 600m

【日 時】8月25日(日) 晴れ

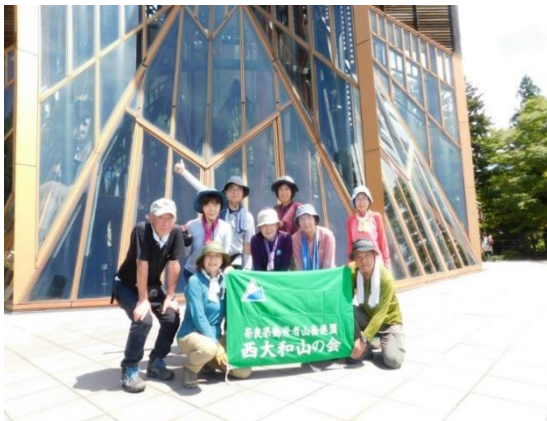
【参加者】L 玉野・SL 佐々木・藤井・橋本・亀高・杉森・岩崎・鈴木・前田良(9名)

【コース】妙見口駅(9:10)～国道477(9:26)～ケーブル黒川駅跡(9:34)～大堂越(10:08)～リフト妙見山跡(10:45)～妙見山山頂(11:05)～昼食(11:18/44)～上杉尾根コース下山口(11:52)～国道477(13:05)～妙見口駅(13:20)

夏山山行の足馴らしのつもりで参加を申し込んだ妙見山だったが、悪天候が続いて夏山自主山行の中止が相次ぐ中、私にとっては妙見山がこの夏のメイン山行となった。当日は予想に反して好天で、中止となった夏山と違って低山は殊のほか暑い。山の天気サイトの登山指数は、好天にも拘わらず、E(登山に適さない:熱中症警戒)だった。山頂の自動販売機に期待して、あまり持参してこなかった飲料水が少し不安だ。

昨年12月までで運航を中止したケーブルカーの黒川駅を過ぎると台場クヌギの森だ。台場クヌギとは、炭焼に丁度良い太さの枝を効率的に供給するため、太い幹を地上1m付近で切断したクヌギである。クヌギの幹から程よい太さの枝が得られるが、幹から出る樹液は、各種クワガタやカブトムシの集まる昆虫レストランであり、切断面が朽ちて洞(うろ)ができた幹は幼虫の生育の場でもある。

能勢電鉄終点の妙見山や手前の笹部駅の台場クヌギの森は、昔はオオクワガタの生息地として有名で、大学からも近かったこともあり、学生時代の夏はキャップライトをつけた姿で、樹液に集まってくるクワガタを求めて、毎晩のように訪れていた。



台場クヌギと炭焼き窯跡を横目に見て学生時代を思い出しながら、急坂を登る。頂上に続く参道の自販機の飲料で喉を潤し、一息つく。山頂には日蓮宗妙見山の信徒会館「星嶺」が聳え立つ。「星嶺」は、仏教の建造物とは思えない木とガラスの殿堂で、北極星信仰の参詣者の心のふれ合いの場として建てられたというが、門は閉ざされていた。

星嶺下の広場で昼食を取り、上杉尾根コースを下山した。下るにつれてさらに気温が上がってきた。到着した妙見口駅前の食堂で注文したかき氷でようやくクールダウンした。

(記: 亀高茂)



自主山行 飛騨山脈 御嶽山 3,067m

【日 時】9月3日（火）～9月5日（木）

【参加者】 L 島崎・SL 永井・佐々木・玉野（4名）

9月3日（火）曇り

【コース】 佐味田川駅前(5:00)⇒濁河温泉小坂登山口(10:18)～のぞき岩避難小屋(12:41)～五の池小屋(15:43)（泊）

今朝、5時に奈良を出発し、順調に濁河温泉小坂登山口に到着した。

登山準備をして、予定の10時半までに出発する事が出来た。最初は結構緩やかな登りやすい登山道が続いた。途中木で作られた階段が所々にあり、徐々にゴロゴロとした石が多くなり最後はずっと殆どが大きなゴロゴロとした石の山道となり、その為かなり脚が疲れた。

標高 1033 メートル登りが続くのは計算では分かってはいたが、やはりひたすら登りは初めての経験で、案の定、脚が攣って皆さんに迷惑をかけてしまった。登る前に薬を飲んで置けば良かったと後悔した。その為、何度も休憩を挟んで頂きながら何とか五の池小屋に到着した。着いた時は壮大な山の風景に感激したのと同時にホッとした。

五の池小屋は寒くてマキストーブを炊いていた程だった。本当に木曽節の歌の歌詞にある様に夏でも寒いんだと痛感した。お陰で暑くてしんどい登山とならなかったのが有り難かった。

（記：佐々木喜代美）

9月4日（水）晴れ後一時小雨

【コース】 五の池小屋(6:17)～二の池小屋(7:50/8:06)～剣ヶ峰(8:43/9:04)～二の池小屋(9:25/42)～五の池小屋(10:57/11:30)～のぞき岩シェルター(13:16/31)～小坂口登山口(16:00) 湯元館（泊）

予定より少し早く N さん先頭に出発したが、SK さんの体調が芳しくない。小休憩を何度か取りながら剣ヶ峰を目指す。サイノ河原にはケルンが無数に並んでいた。御嶽神社奥社の階段下には頑丈なシェルターが3つ、厳粛な気持ちになる。

五の池小屋で昼休憩を取りしばらく歩くとハイマツ帯に出る。オオシラビソの林辺りに来て雨がパラパラして来た。SK さんが腰が痛いとの事。歩調がいつもと違う。それでも歩いてい



たがSさんがSKさんのリュックを持って先頭を歩き出した。2つに分かれてはダメだと思い、SさんとNさん両方が見える位置で歩く様に努めた。少しの間だったが、持ってもらったおかげで、SKさんが腰の痛みがなくなったとの事。自分のリュックを持って歩き出す。先程とは違いしっかりとしていたので、安堵した。ゆっくり歩いたが、予定通り16時に下山出来た。

山のおかげでミッドライフ・クライシスにもならず山に来ると幸せを感じる。これからも先輩達の力を借りていろんな山に挑戦した！
(記：玉野和美)

自主山行 富士山 3,776m

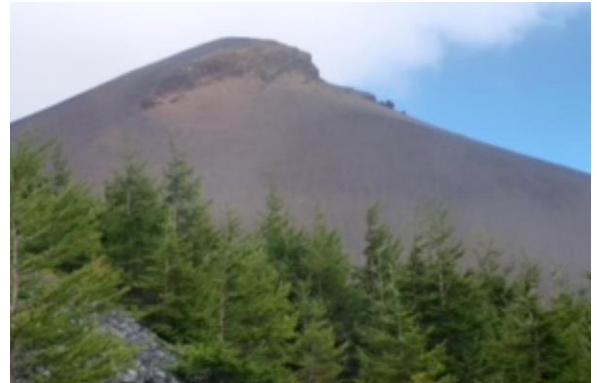
【日 時】9月3日(火)～9月7日(土)

【参加者】L中尾・橋本・岩田・会員外1名(4名)

9月4日(水) 晴れ後小雨

【J-タイム】水ヶ塚公園(8:23)～須山口1合5尺(9:18)～須山口2合5尺(10:25)～第二火口縁(12:00)～富士宮口新6合目 宝永山荘(13:00)(泊)

台風の影響で前日まで天候不順だったが奈良を出発した。水ヶ塚公園より入山する。1合目より須山口登山道から富士宮ルートを行く。ブナ、カエデの森で苔むした樹林帯を気持ちよく歩く。二合五尺を過ぎるとカラマツが林立する砂礫の台地を行く。そびえる宝永山の向こうに山頂が見え、畏れ多い気がした。雲の間から見える富士宮市、駿河湾、の眺めは素晴らしい。歩きやすいジグザグ道だったが、木々がなくなり暑くて五合目付近にくるとガスがかかってきた。小屋につくと雨が降り出したが、夜は満点の星と、夜景がきれいに見えた。ここは新6合目いよいよ明日は頂上を目指す。



(記：岩田礼子)

9月5日(木) 晴れ

【J-タイム】宝永山荘(6:40)～万年雪山荘(9:52)～胸突山荘(10:33)～浅間大社奥宮(11:30/12:05)～富士山剣ヶ峰(12:17/13:00)～お鉢巡り～御殿場口分岐(14:26)～わらじ館(15:55)(泊)

今日は、晴天となる予報。身支度して出発!!行く手を見上げればいくつもの小屋が見える。

9合目直下は、標高が高いからなのか、疲れて馬力が無くなったのか、とってもとってもしんどい。「あともう少しと」言い聞かせ一歩一歩足を上げた。真っ青な青空の下、富士山の頂上である剣ヶ峰を踏み、壮大なお鉢巡りをし気分は最高。老若男女に愛される富士山。「富士山は眺めるもの」と思っていたが、実際に登り達成感を味わった山登りでした。
(記：岩田礼子)



9月6日(金) 晴れ

【コース】 わらじ館(6:06)～宝永山(6:54)～大砂走～幕岩(8:56)～御胎内(9:27)～水ヶ塚公園(10:14)～奥庭駐車場(14:20)～御中道～スバルライン 5 合目(16:08) 吉田口佐藤小屋(泊)



7 合目わらじ館より下山する。宝永の大噴火でできた宝永山に立ち寄る。ここから見る頂上は雄大で荘厳だ。馬の背からは一昨日登った尾根筋の 6、7、8、9 合目の小屋が一直線に見えて、あの道を登ったのかと思うと感慨深かった。大砂走のフカフカの砂道を飛ぶように下る。途中フジアザミ、オンタデの花が気持ちをなごませてくれた。午後より吉田口(山梨県側)に移り奥庭から、カラマツ林の御中道を歩く。よく整備されて、人も少なくのんびりと富士山を味わうことができた。バリエーションが豊富で、初めての富士山だったが“登ってよかった”と思える山行だった。
(記：岩田礼子)



例会山行2 播磨の山 雪彦山 915m

【日 程】 7月7日(日) 晴れ

【参加者】 L 藤井・SL 野路・亀高・上田・永井・岩崎・鈴木(7名)

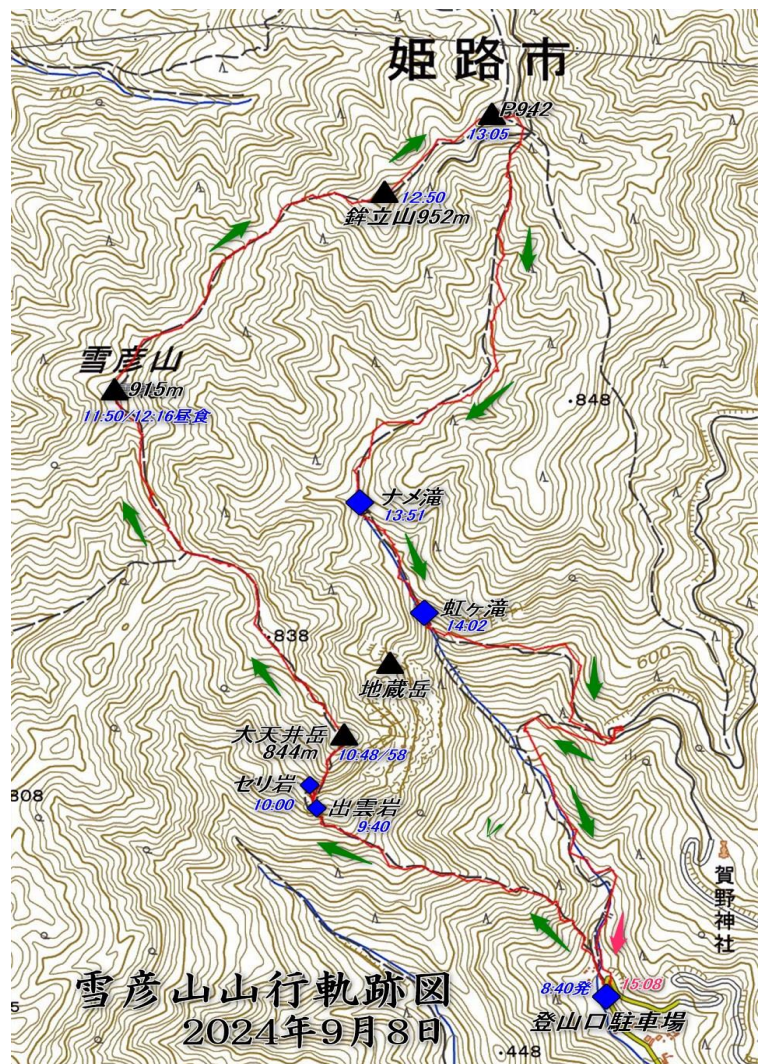
【コース】 駐車場(8:40)～大天井岳(10:48)～雪彦山(11:50/12:16)～鉾立山(12:50)～ジャンク
ションピーク(13:05)～ナメ滝(13:51)～虹ヶ滝(14:02)～駐車場(15:08)

日本三彦山のひとつ播磨の雪彦山に登って来ました。新潟県の弥彦山、福岡県の英彦山と並んで修験者信仰の山らしく岩場登り、鎖有りのスリリングな山だった。

駐車場は無いので道路沿いに駐車。既に 20 台ほどが止まっていて人気の山とみえる。登山口は歩いて 5 分くらいのところ、わかりやすい案内板がある。いきなりの急登。風がなく蒸し暑い、汗が噴き出してくる。今日も猛暑日で日中は 35 度くらいになるらしい。急登の雑木林から巨岩、奇岩群に景色が変わってきた。鎖、ロープ、三点確保で岩場を上がった、下りたりの連続。圧巻だったのは出雲岩、迫ってくるような岩の表面は雲の塊がもくもくと湧き出てくるようだ。ロッククライミングの名所にもなっているらしい。また、人ひとりがやっと通れそうな大岩のすき間を鎖とロープ、体をくねらせながら登る。ほぼ直登で着地点が見えない。

「このまま身動きとれなくなったら大変だな」と思うと気持ちが引き締まる。またまた巨岩の名物難所？セリ岩へ向かう。入り口は肩幅ほど、岩の切れ間に入っていく。出口はだんだん狭くなりザックが岩に引っかかってしまうので技術が要りそう。

長かった大岩、巨岩登りも終盤、もうひと頑張り。祠がまつられた大天井岳で小休止。緊張感とアスレチック感のある岩場は大変だけど楽しかった。約 40 分で二等三角点雪彦山山頂へ、展望はないけどここで昼食タイム。鉾立山も木々に囲まれて展望なし。P942 のジャンクションピークを確認し後半戦へ。林道を横断して虹ヶ滝方面へ向かう。苔むした岩が多くなってきた。緩やかな流れの滝や、岩の隙間を勢いよく流れ落ちる滝など迫力あるコース。落葉樹の緑が清々しく天然のアートか日本庭園か。渡渉しながら小川沿いを下ると堰堤が見えてくる。もうすぐ下山口だ。50 段ほどの下り階段は疲れた足には辛かった。スタートからゴールまで気の抜けない鎖場、ロープ、岩場、渡渉。自然が作り出した素晴らしい滝。歩行距離約 7km 変化に富んだ修行の山でした。（記：上田雅子）



例会山行1 北摂の山 箕面山 355m

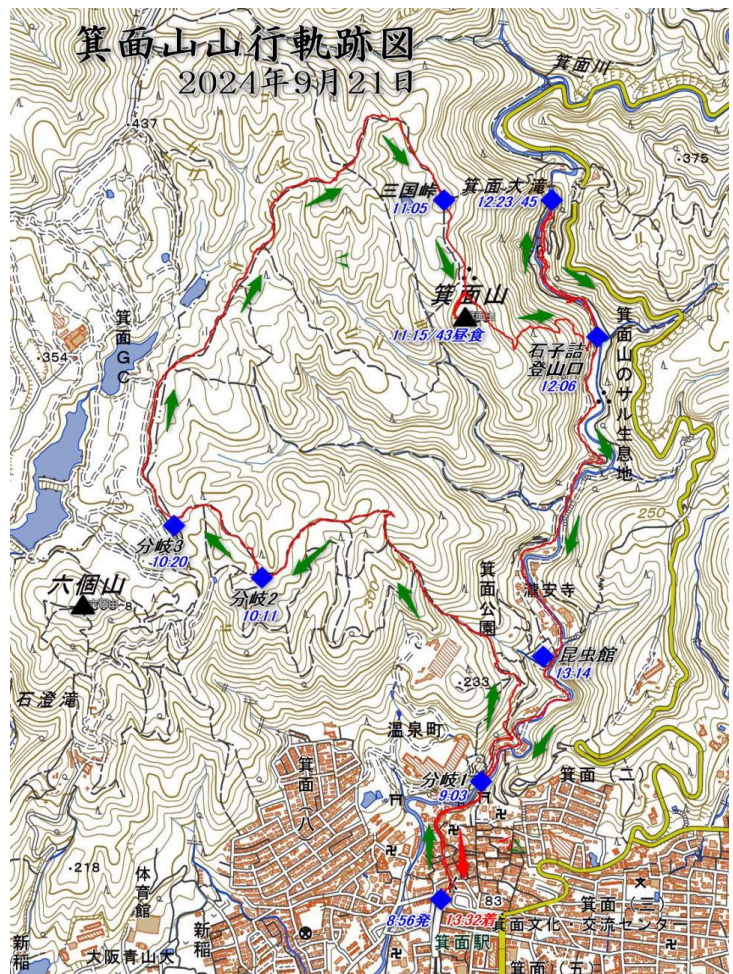
【日 程】9月21日（土）晴れ

【参加者】L 佐々木・SL 島崎・藤井・杉村・亀高・杉森・岩田・玉野・岩崎・岡嶋吉・岡嶋ハ・佐伯（12名）

【コース】箕面駅(8:56)～三国峠(11:05)～箕面山(11:15/43 昼食)～石子登山口(12:06)～箕面大滝(12:23/45)～箕面駅(13:32)

曇天の中、箕面駅より出発する。箕面公園を過ぎると登りが続き汗だくになる。ゴルフ場を横手に見ながら、思ったより涼しく木立の中を気持ちよく歩く。途中展望が開けてきて薄らと大阪平野を望むことができ、太陽の塔などもまじかに見えた。箕面山で昼食をとる。箕面大滝は観光客で賑わっていて、マイナスイオンを浴びながら川沿いを下る。暑さのためか箕面のサルには出会えなかった。動植物、昆虫なども豊富らしく昆虫館などもあった。秋には紅葉が綺麗だろうなと思いを馳せながら、残暑は厳しかったがマツカゼソウ、シュウカイドウの花を見る事ができ、ちょっぴり秋を感じる山行だった。

（記：岩田礼子）



自主山行 上信越の山 浅間山 2,568m ・ 四阿山 2,354m

【日 時】9月26日(木)～9月28日(土)

【参加者】 L 中尾・上田・佐伯(3名)

9月27日(金) 曇り 仙人岳(2,320m)～蛇骨岳(2,366m)

【コース】 高峰高原ビジターセンター駐車場(車坂峠)(8:22)～槍ヶ鞘(9:52)～トーミの頭(10:08)～賽の河原(11:32)～鋸岳(12:17/38)～仙人岳(13:24)～蛇骨岳(13:50)～黒斑山(14:30)～トーミの頭(14:53)～槍ヶ鞘(15:07)～車坂峠(16:18)

登山口を出発するときから霧がかかり、浅間山や遠くの景色が見えない状態が続きました。登山道には視界が開けた場所が多く、天候が良ければ最高の眺めだろうなと思いながら歩きました。「賽の河原」分岐からは通行禁止になっていたのでJバンドへと進みました。途中、近距離でカモシカに遭遇し、お互いに見つめ合い、美味しそうに餌を食べる様子をゆっくりと見たり、槍ヶ鞘やトーミの頭の大岩をじっくり見たり、賽の河原の大岩の大きさを確かめたりするなどの楽しい体験ができました。(記：佐伯博子)



9月28日(土) 曇り 四阿山(2,354m)～根子岳(2,320m)

【コース】 菅平牧場登山口(7:53)～小四阿(8:59)～中四阿(9:49)～四阿山(10:51/11:24)～根子岳(12:57)～菅平牧場登山口(14:42)

前日より霧が少なく、四阿山・根子岳が見え隠れする状態でした。天候の崩れが心配だったので先に四阿山に登ることにしました。時々指す太陽の光が美しいシラカバ林の中を気持ち良く進み、途中からは針葉樹と大笹が茂りぬかるんだ道を注意しながら登りました。四阿山山頂は山岳部の高校生など沢山のひとで賑わっていました。次の根子岳へは、濡れた木の根っこばかりの激下りが続きましたが、鞍部まで来ると根子岳が美しい姿を見せてくれました。そこから、大笹に囲まれた登山道を進み、上部にある大岩を通り抜けると頂上に着きました。下りは遠くの景色



を見ることが出来ませんでした。あざやかな模様のクジャクチョウやひっそりと咲く様々な花々が疲れを癒やしてくれました。
(記：佐伯博子)



例会山行2 大峰山脈 稲村ヶ岳 1,726m

【日 程】9月29日(日)曇り

【参加者】L 岡嶋吉・S L 岩崎・藤井・亀高・野路・杉森英・岩田・佐々木・玉野・鈴木・田中(11名)

【コースタイム】母公堂(8:25)～分岐(8:38)～法力峠(9:30)～稲村小屋(10:53/11:15 昼食)～稲村ヶ岳(11:53/12:05)～宝剣(12:20)～大日山(12:45)～分岐(15:15)～母公堂(15:30)

母公堂からスタートし、登山道が一部崩れている箇所があったが、全体になだらかな登りで歩きやすい。秋の紅葉にはまだ少し早く、ガスっていたので残念ながら展望はなかった。二度目の稲村ヶ岳、初めての時はオオミネコザクラを見る事が出来、今回は宝剣を見る事が出来た。

1960年7月に女人解禁が正式に承認されたとか。私の生まれた年なのでますます稲村ヶ岳が好きになった。
(記：玉野和恵)





例会山行1 鈴鹿山脈 三池岳 972m

【日 程】10月6日(日) 曇り時々晴れ

【参加者】L 島崎・S L 藤井・杉村・橋本・亀高・野路・杉森英・永井・佐々木・玉野・
前田昌・岩崎・岡嶋吉・岡嶋八・中野・鈴木・田中(17名)

【コース】登山口駐車場(9:20)～南谷出合(9:53)～中峠八風峠分岐(10:33)～八風峠(11:47/12:27 昼食)～三池岳(12:45)～三角点(12:57)～お菊池(13:10)～駐車場(14:46)

八風キャンプ場に到着すると付近の駐車場は満杯になっており、心配しながら先に進むと登山口のある広い駐車場は空いていたのでほっとして車を止め、登山口からゆっくり歩き始める。しばらくして南谷出合の小さな流れを渡り、前日の雨でじめじめした登山道を歩いていくと、

ヒルに襲われ始め、少ない人で2〜3匹、Sさんは10匹程のヒルに吸いつかれ大騒ぎしながらの登山となった。

わいわい言いながら30分程登ると中峠・八風峠分岐に到着し、当初中峠に行く予定であったが、案内標識に中峠難所との表示があったため、八風峠への道に変更した。分岐から八風峠の間はイワカガミの葉が群生しており、春に歩くといいだろうなと思った。急なつづら折れを



うなと思いつつ、緊張しながら疲れた足をだましまして無事に駐車場に降り立ち、楽しい一日を過ごすことが出来た。



歩いていくと三地蔵があり、ここから少し傾斜が緩み、八風峠に到着するころにガスに覆われてしまったため、残念ながら景色を望むことはできなかったが、八風峠でのんびりと昼食をとり、三池岳に登頂した。三池岳の三角点は、山頂から少し進んだピークにあり、なぜ三角点のところに山頂の表示がないのか不思議に思った。

三角点から駐車場までは、かなりの急こう配の下山道が続き、これを登るのは大変だろ

(記：前田昌信)



自主山行 妙高戸隠連山 火打山 2,461m ・ 妙高山 2,454m

【日 時】 10月9日(水)～10月12日(土)

【参加者】 L 島崎・佐々木・玉野・中尾(4名)

10月10日(木) 晴れ 笹ヶ峰～火打山

【コース】 笹ヶ峰登山口(6:37)～黒沢橋(7:32)～高谷池ヒュッテ(10:26/11:03)～天狗の庭(11:24)～火打山(12:54/13:32)～天狗の庭(14:46)～高谷池ヒュッテ(15:10) (泊)

朝から快晴で登山日和、笹ヶ峰登山口に向かう車中で雲海を、眺める事ができた。笹ヶ峰登山口からは入山協力金を支払い可愛い木札の記念品を頂いた。

ゲートを進むと緩やかな木道がずっと続いた。途中、さほど難所でも無かった十二曲がりを超え、高谷池ヒュッテに着いた。距離はあったが歩き易い登山道だった。高谷池ヒュッテに着くと、まるで絵画を観る様な風景を目の前にして昼食を取り、その後火打山にはザックを置き軽装で向かった。

初め、木道が続く湿地帯をどんどん進むと



眺めはどこを觀ても感動の連続だった。徐々にしっかりとした登りになり、軽装なのに少し脚が攣りかけたのは恥ずかしかった。火打山の頂上では360度遠くまで見渡す事ができ、本当に絶景だった。その後高谷池ヒュッテにゆっくり戻ったがまだ3時過ぎで、夕食までの自由時間を楽しむ事ができた。そして夕食となったが高谷池ヒュッテの名物カレーとハヤシライスはとても美味しく、特にカレーは米粉と酒粕を使っているらしく絶品だった。

(記：佐々木喜代美)

10月11日(金) 晴れ時々曇り 高谷池ヒュッテ～妙高山

【コース】 高谷池ヒュッテ(6:10)～茶臼山(6:37)～黒沢池ヒュッテ(7:10)～大倉越(7:48)～妙高北峰(10:08)～妙高南峰(10:50)～風穴(12:25)～称明滝(14:18)～燕温泉(15:30) (泊)

高谷池ヒュッテを出発し、黒沢池ヒュッテから、大倉乗越に向かう。

大きな岩がゴロゴロしている中を、足を高くあげなくて良いルートを探しながら歩く。妙高北峰までは険しい登りが続いた。北峰に着いた時は曇っていたが、昼休憩がすんだ頃には北の方の視界が開けて来た。はるか遠くに、少し噴煙をあげている焼山や火打山が見えた。

南峰でも南側の視界は悪かったが、岩稜に青空が映える！ゴジラの背かと思う程、ゴツゴツとしたカッコいい山頂だ。ここからは苦手な下り。鎖場に着くとステップが切っており不安なく降りられた。次は胸突き八丁と言われる激下り、慎重に降りる。胸突き八丁が終わってしばらく歩くと露天風呂が見えて来た。SさんとNさんが足湯を、20分程浸かる。露天風呂の後

ろに約 30m程の滝が流れている、私達は、素っ裸の男性が入っていたので遠慮した。そこからは舗装された道路を歩いて燕温泉に着いた。お腹もペコペコ、温泉に入って、今日も夕食が待ち遠しい。
(記：玉野和恵)



例会山行2 大峰山脈 証誠無漏岳・行仙岳 ～笠捨山

【日 時】10月19日(土)～10月20日(日)

【参加者】L 杉森英・SL 上田・藤井・島崎・野路・永井・岩田・佐々木・玉野・前田昌・岩崎(11名)

10月19日(土) 曇り時々雨 林道ゲート～証誠無漏岳(1,301m)

【コース】林道ゲート(10:06)～林道ゲート(12:20/50 昼食)⇒下北山村スポーツ公園(13:40)
(泊)

世界遺産である修験道、大峰奥駈道を歩くのを楽しみにしていた。1日目林道ゲートより出発したが、歩くこと1時間あいにく大粒の雨が降り出した。ここまでかなりの悪路で、帰りの車の安全の為、証誠無漏岳には登らず止む無く引き返す。ゲートで昼食をとり、温泉に入り午後からは長い饗宴を楽しむこととなった。明日の天気值得期待しよう！(記：岩田礼子)



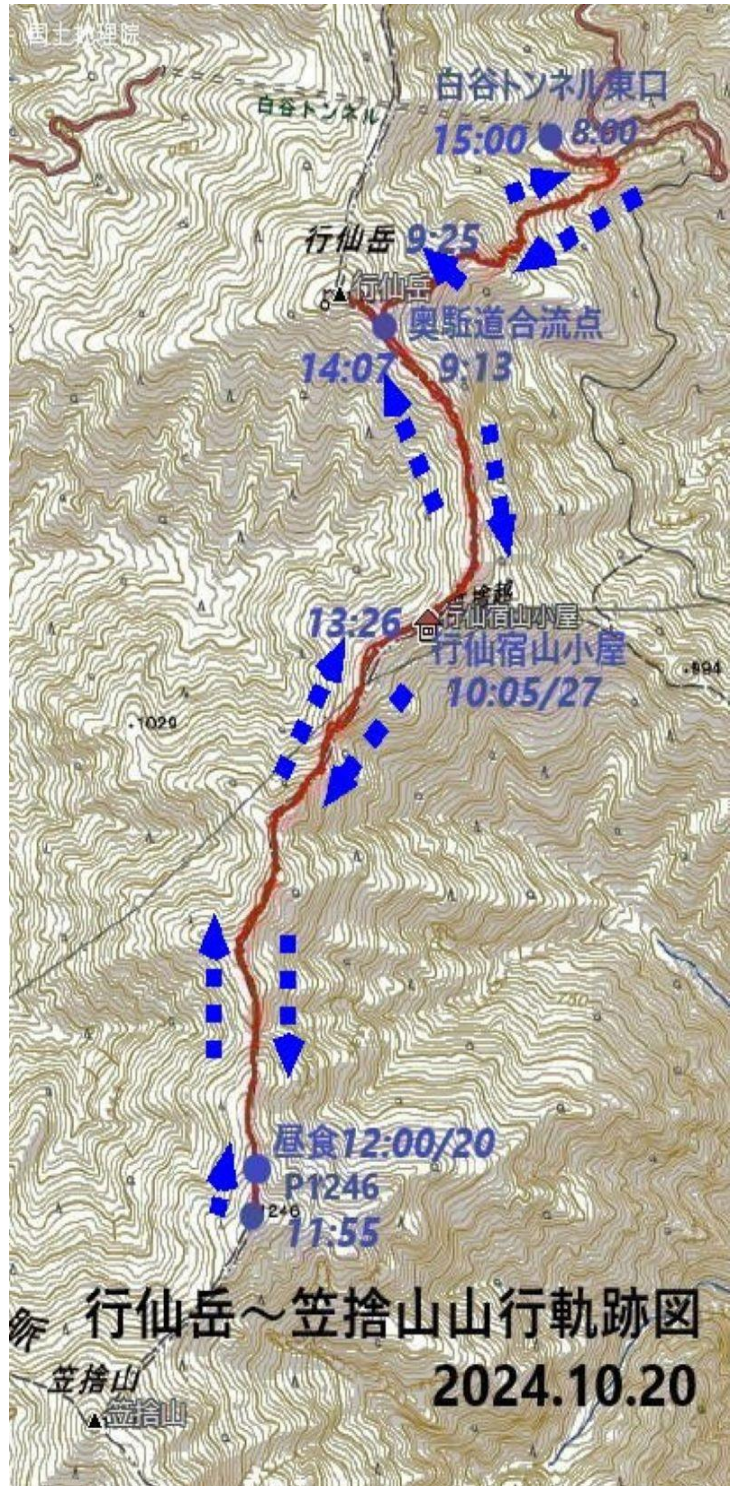
10月20日(日) 晴れ 行仙岳(1,227m)～笠捨山(1,352.3m)

【コース】 白谷トンネル東口(8:00)～奥駈道合流点(9:13)～行仙岳(9:25)～行仙宿山小屋(10:05/27)～P1246(11:55)～昼食(12:00/20)～行仙宿山小屋(13:26)～奥駈道合流点(14:07)～白谷トンネル東口(15:00)

今朝は晴れわたり、清々しい天気になった。登山口からいきなりほぼ垂直の梯子。その後も次々と梯子が続き、高度を稼いでくれる。1時間余りで大峰南奥駈道に合流した。道は穏やかになり行仙岳へは5分ほどで到着。山頂は開けていて雨上がりの澄んだ空の下、360度山並みがくっきりと見渡せた。南下して笠捨山を目指すが途中、行仙宿山小屋に立ち寄る。新宮山彦グループが管理している清潔な小屋だ。以前ここに泊って囲炉裏を囲んだことを思い出した。

展望を楽しみながら、色づき始めた木々の中を快適に歩いていくが、足場の悪いところもあって、慎重に進む。山深い修験業の道、ほとんど人にも会わず、アップダウンを繰り返し、いくつも峰を超えていくが笠捨山はなかなか近づいてくれない。日没も早くなってきていることだし、帰りの時間を考慮して、一つ手前の1246ピークで引き返すことにした。笠捨山を見上ながら昼食タイム。次に来る時まで待っていてね。

(記：藤井益子)



2024 年度 第 3 回運営委員会議事録

【日 時】2024 年 9 月 1 日（日）15:00～16:00 リーベル王寺東館 5 階フリールーム 1

【出席者】永井・杉森英・亀高・野路・上田・都築（記録）

運営委員会案件

1. 県連（奈良県勤労者山岳連盟）の概要説明

・組織

日本勤労者山岳連盟（JWAF）650 団体 25,000 人

|

近畿ブロック（2 府 4 件）133 団体 4,600 人

|

奈良県勤労者山岳連盟 6 団体 223 人

|

各会

奈良県勤労者山岳会 99 人

奈良ハイキングクラブ 75 人

西大和山の会 22 人

オオヤマレンゲ山の会 15 人

やまと山遊会 4 人

山風舎 8 人

当会の加盟時期：昭和 57 年 5 月

当会からの役員派遣（令和 6 年度）

理事：永井 会計監査：野路 代議員：2 名（総会時）

2. 来期の運営委員について

会報またはホームページ担当の副会長を加えることを検討する。

以上

室内例会だより

【日 時】2024 年 9 月 1 日（日）16:00～17:00 リーベル王寺東館 5 階フリールーム 1

【出席者】永井、杉森英、亀高、野路、上田、杉村、藤井、島崎、橋本、岩田、佐々木、玉野、
前田昌、岩崎、岡嶋吉、岡嶋八、中尾、佐伯、中野、前田良、都築（記録）

1. 山行計画

9 月 8 日（日）例会山行 2 播磨の山《雪彦山 915m》……………L 藤井
9 月 15 日（日）例会山行 2 紀北の山《龍門山 755.9m》……………L 杉村
9 月 21 日（土）例会山行 1 北摂の山《箕面山 354m・箕面大滝》……………L 佐々木
9 月 29 日（日）例会山行 2 大峰山脈《稻村ヶ岳 1,726m》……………L 岡嶋吉
10 月 6 日（日）例会山行 1 鈴鹿山脈《三池岳 971m》……………L 島崎
10 月 19 日（土）～20 日（日）例会山行 2 大峰山脈《証誠無漏岳 1,301m
・行仙岳 1,226.9m～笠捨山 1,352.3m》……………L 杉森英
10 月 27 日（日）奈良県勤労者山岳連盟交流山行（西大和山の会主催）
例会山行 1 北摂の山《深山 790.5m・るり溪》……………L 永井

上記山行計画について各リーダーが紹介し、参加者の確認を行った（次ページ参照）

2. 山行報告

6 月 30 日（日）例会山行 2 奈良県連搬出訓練《奈良県広域消防組合本部・橿原消防署》
L 都築……………4 名

※今回の山行報告については、各自で会報に掲載された報告書を見てもらう。

3. 報告・連絡事項等

○会員からの質問

Q：緊急連絡先になった時の対応

A：当会の細則 3「緊急対策規定」に従って行動する。

Q：情報カードに記載してある電話番号につながらない場合はどうすれば良いか。

A：何度も電話する。（電話番号が登録されていない場合は出ない時があるので何度もかけているとそのうち出る。）また、家族に山行計画書を渡しておく。

Q：メンバーは各自紙の地図も持参し、リーダーは山行前に当日の山行計画について説明するべきではないか。

A：山行メンバーは各自で地図を印刷・確認して山行に参加するべきで、ほとんどの会員はそうしている。計画書のコースの書き方によって、どのルートかが明確でない場合があるので、計画書にはルートを特定できるよう詳細に記載する。複数ルートが想定される場合、リーダーが山行前に説明することも検討する。

○今回の室内例会時にも、順番で「ハイキング セカンド・ステップ」を読んだ。

○暑気払い

2024 年 9 月 1 日（日）17:00～20:00「や台すし」王寺駅北 参加者 17 名（担当：都築）
（次回の忘年会は、12 月 21 日（土）担当 亀高さん）

西大和つうしん

第 482 号（2024 年 11・12 月号）

2024 年 10 月 31 日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>